

令和七年度 静岡県立清水西高等学校 入学式式辞

待ち望んでいた桜が見事に咲き誇り、さわやかな風が吹き抜け、春の香りが満ち溢れるこの佳き日に、後援会長 望月琢夫(たかお)様、PTA会長 名倉千恵様をはじめ、多数の御来賓、保護者のみなさまの御臨席を賜り、令和七年度静岡県立清水西高等学校入学式を挙行出来ますことを、生徒、教職員を代表して心より感謝申し上げます。

ただいま入学を許可致しました166名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員、在校生一同、心から歓迎いたします。

今の新鮮で希望に満ち溢れた気持ち。初心を忘れず、これからの高校生活を精一杯謳歌してください。

本校は、明治44年に、巴実家高等女学校として創立され、本年度で115年目を迎える、清水区で最も歴史と伝統のある学校です。『清く けだかく 美しく』を校訓とし、多くの先輩諸氏のたゆまぬ努力により、文武両道の良き校風を築き上げてきました。新入生のみなさんも、今日から校訓の意味を噛みしめ、自分たちの力で本校の歴史と伝統に新たな1ページを加えていってください。高校生活の主役は、生徒のみなさんです。あなた方一人一人が自分の人生の主役です。三年間という時間は、長いようで、実は、あっという間に過ぎて行くかもしれません。自分の描く未来予想図(夢)を、叶えられるよう、成長し続ける毎日を過ごしていってください。

私たち教職員は、みなさんが描く夢の実現に向けて、最大限のサポートをしていきます。

さて、現代は、物事の不確実性が高く、急激な変化が起こりやすい、と言われるVUCA社会に突入しています。多様性にも富み、保護者の皆様や私が学生だった頃とは違い、大人の背中を追うだけでは、将来の自分の姿を思い描くことさえ難しい社会となりました。生成AIなど、ハイテクノロジーの急速な進展により、ビジネス環境も大きく変化しています。

これまで「あたりまえ」だと思っていたことが、ほんの僅かな間に、「あたりまえ」ではなくなる社会になっています。新入生のみなさんは、みなさんがやがて社会人となって活躍する世界は、地球規模の環境問題、少子化・高齢化への対応など、様々な課題が待ち受けています。また、4年目に突入したロシア・ウクライナ戦争、イスラム組織ハマスとの戦闘が続くガザ地区など、平和な日常を脅かす、急激な変化が起こっています。第二次トランプ政権が始まったことによる国際社会に及ぼす影響は、今後も余談を許さず、ますます大きくなっていくことでしょう。新入生のみなさんの親世代が、これまで歩んできた職業観や人生観を、同じように辿ることが出来ず、誰も経験してこなかったことを、解決することになるかもしれません。

それでも・・・。「社会」を創造するのは、他の誰かではなく、みなさん自身なのです。自分の人生の主人公として、あらゆることに責任を持ち、周りの人達と手を携(たずさ)

えながら、よりよい社会を創る人になってほしい、そう思います。そのためにも、「自分探し」や「自己を高めていく」基礎を、本校で過ごす高校三年間で、しっかり身に付けてください。

みなさんは、『未見の我』という言葉をご存じでしょうか。「未だ出会ったことがない自分。」「試練を経て、成長した先にいる新たな自分。」それが、『未見の我』です。人は、自分の中にある潜在能力の殆どを、使うことなく、また、気付くことなく人生を終えていくそうです。

人生は、試練を経て、成長した先にいる新たな自分に出会う旅だと言えるかもしれません。そこで、みなさんに三つのことをお願いします。

一つめは、「主体的に学ぶ。そして、学びを深める。」です。自分の適性や個性を生かして、他律的な学びではなく、自らが主体的に学習に取り組む姿勢を用意してください。そして、この先、自分がやりたいことは何なのかを真剣に考え、その思いを成就するために必要なことを逆算して、課題を見出し、解決していく、探求する力を身に付けていってください。なぜなら、人生そのものが、「探求する」ことの連続だからです。

二つめは、「チャレンジ」することです。

みなさんは、無限の可能性を秘めています。日々の授業、学校行事や部活動に、受け身になるのではなく、積極的な姿勢で臨んでいってください。時に自分だけの力で、またある時には、仲間とともに一つの目標に向かってチャレンジすることの素晴らしさを体験して、自分を成長させてください。

三つめは、「出会いを大切にする。」ということです。新しい友や先生との出会い、知識との出会い、本との出会い、様々な体験との出会い、高校生活は新しい出会いの連続です。こうした出会いの中で、人との信頼関係ができ、視野が広がり、考え方が深くなり、人間として強くもなり、優しくもなれるのです。特に人との出会いは大切です。高校時代のクラスメイトや部活動の仲間が、一生の親友となることはよくあります。多くの出会いを大切にして、誠実に向き合うことで、大きく成長してほしいと願います。

これからの三年間で、自分自身を鍛え、成長させ、自ら進むべき道を見出すことができるよう、みなさんのこれからの取組に期待します。

私たち教職員一同は、保護者のみなさま、御家族のみなさまから大切なお子さまをお預かりします。お子さま一人一人が充実した高校生活を過ごし、「自立心と社会性を身に付け、高い志を持って行動する、心豊かで地域の未来を創生するグローバルリーダー」に成長するよう全力で指導・支援してまいります。

学校は、御家庭と同じく、子どもたちが、安心して安全に生活できる場であると同時に、

鍛錬の場でもあります。時に厳しく、常に愛情をもって、寄り添い、指導支援にあたる所存でございます。新入生のみなさんが、「清水西高校を選んで良かった。」と実感してもらえるように努めてまいります。何卒、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、御多用の中、御臨席を賜りました御来賓の皆様方に、高い所からではございますが、心から御礼申し上げます。これからも、本校に対しまして、一層の御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

新入生166名の春が、大いなる成長と幸福と希望に満ち溢れた門出になりますことをお祈りし、式辞といたします。

令和7年4月7日
静岡県立清水西高等学校
校長 山野 良成